

令和6年10月7日
海上幕僚監部

(お知らせ)

日米印豪共同訓練 (MALABAR2024) について

令和6年度インド太平洋方面派遣 (IPD24) 部隊は、「自由で開かれたインド太平洋」の実現に向けて同盟国・同志国海空軍との連携を強化すべく、次のとおり米海軍、インド海軍及びオーストラリア海空軍と日米印豪共同訓練 (MALABAR2024) を実施します。

1 目的

- (1) 海上自衛隊の戦術技量の向上
- (2) 参加国海空軍との相互運用性の向上

2 期間

令和6年10月8日 (火) ~ 10月18日 (金)

(停泊フェーズ: 令和6年10月 8日 (火) ~ 10月12日 (土))

(洋上フェーズ: 令和6年10月13日 (日) ~ 10月18日 (金))

3 訓練海空域

ヴィシャカパトナム及び同周辺海空域

4 参加部隊

- (1) 海上自衛隊
 - 護衛艦「ありあけ」(IPD24第2水上部隊)
 - 特別警備隊 (IPD24派遣特別警備小隊)
- (2) 米海軍
 - 駆逐艦「デューイ」、P-8A、特殊作戦部隊
- (3) インド海軍
 - 駆逐艦「デリー」、フリゲート艦「タバール」、「カドマツト」、「カモルタ」
 - 補給艦「シャクティ」、潜水艦、P-8I、特殊作戦部隊
- (4) オーストラリア海軍
 - フリゲート艦「スチュアート」、特殊作戦部隊
- (5) オーストラリア空軍
 - P-8A

5 訓練項目等

(1) 停泊フェーズ

立入検査訓練等

(2) 洋上フェーズ

各種戦術訓練（対潜戦、対水上戦、対空戦、対水上・対空訓練射撃等）

6 その他

(1) 日米印豪共同訓練（マラバール）は、平成4年に米印の2国間訓練として始まり、平成19年に海上自衛隊が招待を受けて以降継続的に参加しており、今回で13回目の参加です。

(2) 本訓練中に実施される艦隊司令官級会合に、自衛艦隊司令官が参加します。